

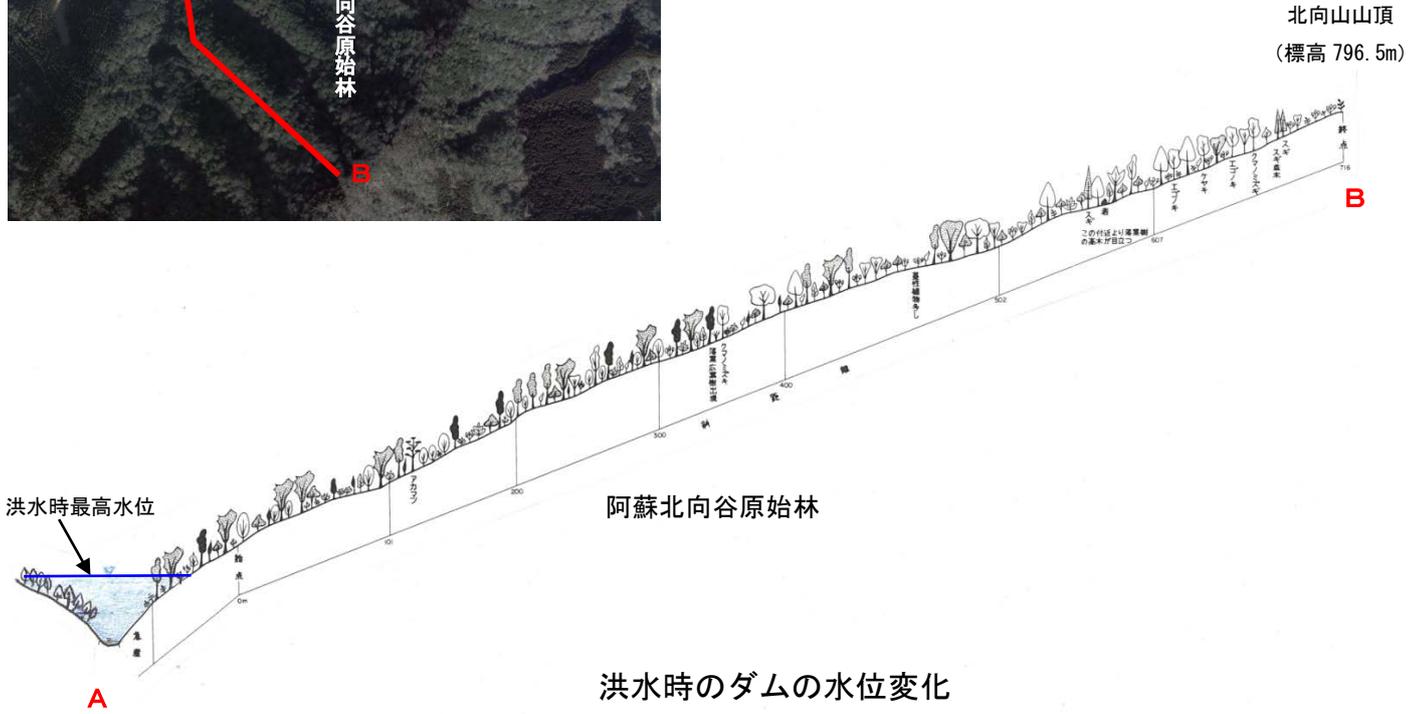
## Q4-2. 立野ダムは、阿蘇北向谷原始林などの自然環境に与える影響が大きいのではないのでしょうか。

- 立野ダム建設予定地周辺は「阿蘇くじゅう国立公園」内に位置しており、自然環境豊かな地域です。このため、できるだけ良好な環境の保全を図りつつ、ダム事業を実施することは重要であり、地域の豊かな自然環境と共生したダムづくりを目指して、専門家からなる「立野ダム環境保全検討委員会」を設立し、環境影響の予測や回避・低減措置等の検討を行っています。
- 阿蘇北向谷原始林については、立野ダムの建設工事による直接的な変化はありませんが、洪水時に一時的に立野ダム上流の水位が上がり、そのごく一部（阿蘇北向谷原始林全体 80.8ha のうち 4.7ha）が水に浸かる可能性があります。
- ただし、阿蘇北向谷原始林が水に浸かる時間は、昭和 28 年 6 月洪水や平成 24 年 7 月洪水でも 1 日以下と短いため、阿蘇北向谷原始林全体の植物（木本類や草本類）の生育状況に与える影響は小さいと考えています。（図－1）
- また、立野ダム完成前にダム本体や湛水地周辺などの安全性を確認するために試験的に水を貯めますが、水を貯める期間を短くするとともに、動植物の専門家の指導助言も得ながら、立野ダム完成前にダム本体や湛水地にかかる動物のねぐらを移したり、植物を移植したり、工事で裸地となった斜面に苗木を植えて植生を早く回復させるなどの対策を実施することにより、影響をできる限り小さくすることが可能

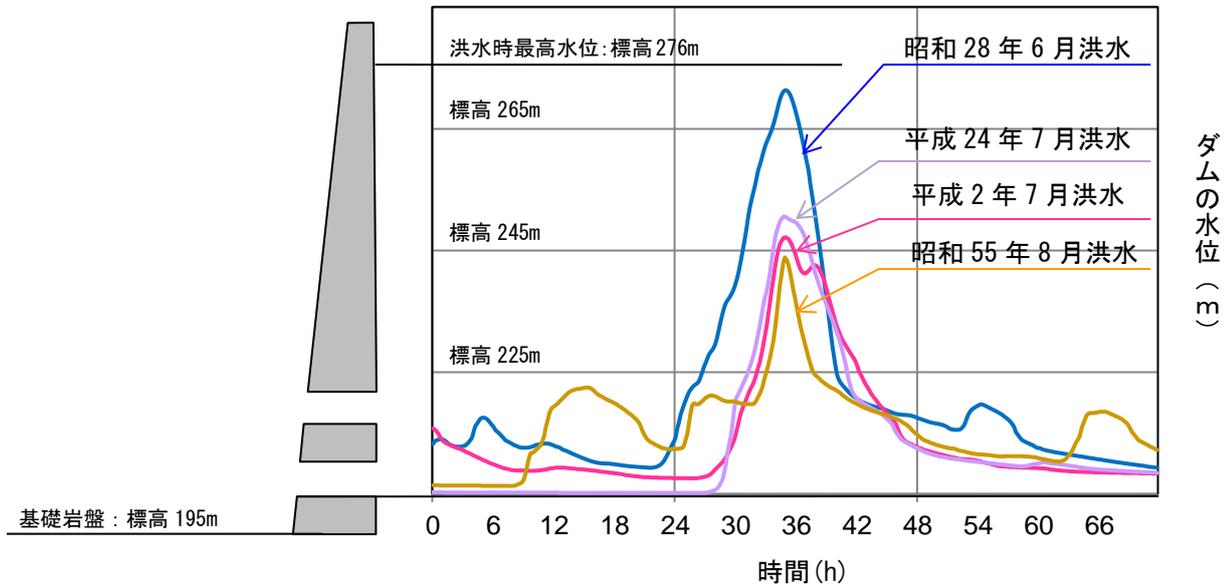
と考えています。

○これまでも、自然環境や動植物への影響を極力小さくするように配慮しながら事業を実施しているところですが、今後とも自然環境や動植物への影響を可能な限り小さくするよう努めていきます。

○詳しい資料については[こちら](#)に掲載しております。



洪水時のダムの水位変化



図一 阿蘇北向谷原始林断面と洪水時の水位変化